

納豆用大豆新品種「中育69号」の開発

主力品種「スズマル」と同等に加工できて、さらに線虫にも強い大豆新品種「中育69号」を開発

背景

- ・納豆加工に適した道産大豆「スズマル」は、納豆用品種のトップブランドであるが、ダイズシスト線虫に弱い。
- ・「スズマル」のブランドを継承し、線虫に強く、安定生産可能な品種が求められている。

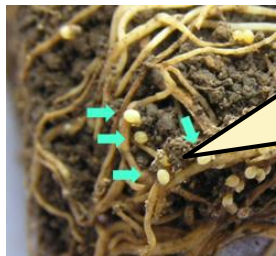
成果

1 線虫に強い



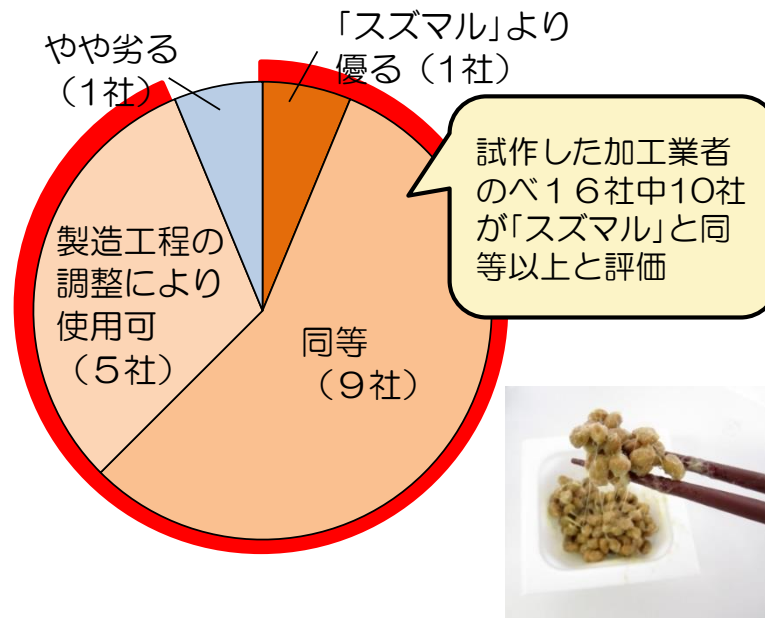
スズマル
(弱)

中育69号
(極強)

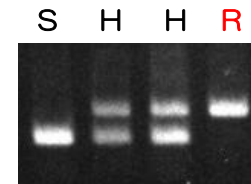


線虫は、「スズマル」の根に寄生して養分を奪うが、「中育69号」には寄生できない。

2 「スズマル」と同じ様に納豆に適している



3 本品種は、DNAマーカーを活用した連続戻し交雑法で開発



R: 抵抗性 (選抜)
S: 感受性、
H: ヘテロ



生育、加工適性などの諸特性は、遺伝的に「スズマル」とほぼ同じ

「スズマル」の全面置き換えを目指す。

期待される効果

- ・「スズマル」の強いブランド力を継承した安定生産性に優れる品種の普及により、道産大豆の生産に貢献
- ・加工適性に優れた道産納豆用原料を安定的に生産・供給することにより、企業と生産者双方の利益となる